

## 昼休み

すっかり疲れ果てて僕は寝転んだ  
池のまわりの学生のたまり場に  
視線がひどく低いので  
狭い芝生はずいぶん広い野原に見える  
綿毛のたんぼぼが大きく見えて  
黄緑の若葉が僕を見下ろして  
ああ、僕は慈愛の眼差しに囲まれていた

僕はすっかり疲れも取れて  
伸び伸びとした童心にかえった  
沢山の蟻と無心に戯れて  
ああ、僕はもう居なくなってしまった

ところが僕の傍に可愛い女たちが座って  
にぎやかに話し始めたから  
僕は虚栄の心にあおられてしまい  
やおら煙草を取り出して吸ってしまった

煙草を吸ってしまった・・・  
これで僕は暗鬱な己の中に逆戻りして  
また疲れがどっと重たくのしかかって  
僕はどうにも憂鬱に立ち上がりましたのです

(1982.5.18)